



● 本日の例会 2018 年 9 月 7 日 通算 1494 回 本年度 第 9 回

卓話：「今、この時代に生きる子どもたちに寄り添うために」

NPO 法人若者メンタルサポート協会理事長 岡田 沙織 氏

● 第 1493 回 例会報告 / 2018 年 8 月 31 日

出席報告：会員 57 名 / 出席 34 名 欠席 24 名

ゲスト：登坂正子（卓話）、岩澤麻結

ビジター：村上順子（東京恵比寿 RC）、浅川博道（東京
みなと RC） 計 4 名（順不同・敬称略）

卓話：「ミネラルヘルス®で健活

～仕事能力を高め うつ病を防ぐ～」

ホリスティックケアメディカルクリニック

院長 登坂 正子 氏



紹介者：長谷川会員

会長報告：

東京恵比寿 RC 村上様よりチャリティーコンサートのご案内です。「11/7(水)18:00～紀尾井ホールにてポリオ撲滅チャリティーコンサートを開催いたします。是非足をお運びください。實川風氏のピアノリサイタルを企画しております。チケット代 5000 円のうち 3000 円はロータリー財団のポリオプラス基金へと寄付させていただきます。」

佐藤会員へロータリー財団よりベネファクターの感謝状が届きました。



奉仕プロジェクト委員会：（藤井万博委員長）

①芝商業高校よりインターンシップ実施のお願いが届いております。12/11(火)～12/12(水)の 2 日間です。ご協力お願い申し上げます。締め切りは 9/末となっております。直接芝商業高校へ受入回答書を FAX ください。よろしくお願い申し上げます。

②9/8 風の子会「外に出よう」へご参加の皆様よろしくお願い申し上げます。

研修委員会：（大日方リーダー）

①9/4 火曜会前に新会員研修会を開催いたしますのでよろしくお願い致します。

②ロータリーの友を是非ご覧ください。

SAA 委員会：（木下リーダー）

9/14 のガバナー補佐出席のクラブ協議会テーマが「出席率向上について」となっております。クラブからの意見が求められており、皆様よりご意見を伺いたくよろしくお願い申し上げます。

幹事報告：

姉妹クラブの公山城 RC より 9/14～9/22 の百済祭へ是非いらしてください、とのご連絡を頂きました。

今後の予定 (対象者…全会員)	日 付	開始時間 終了時間	場 所	事 項	内 容
	9 月 14 日	12:30 14:30	B 1 オーロラ ANA インターコンチネンタルホテル東京	例 会	第 2 回クラブ協議会（ガバナー補佐訪問） テーマ：「出席率の向上について」
	9 月 21 日	12:30 13:30	37F アリエス ANA インターコンチネンタルホテル東京	例 会	卓話： 声優 水島 裕 氏
	9 月 28 日	12:30 13:30	B 1 オーロラ ANA インターコンチネンタルホテル東京	例 会	卓話： イニシエーションスピーチ 藤本 亮 会員
	10 月 5 日	12:30 13:30	37F アリエス ANA インターコンチネンタルホテル東京	例 会	卓話： イニシエーションスピーチ 金澤 明彦 会員

中国の河南省にエイズ村と呼ばれている村があります。その村の名前は文楼村（ぶんろうそん）という村です。この、文楼村は中華人民共和国河南省駐馬店市上蔡県蘆崗街道（旧・蘆崗郷）の村である。県城の西 3km にあり、エイズ感染状況により知られている。当地でエイズが広まった原因は、1990 年代に河南省政府が「有償献血」を押し広め、いわゆる「血漿経済」を促進し、当地の居民を不潔な売血に導き、感染を引き起こしたためである。全村の 3200 余人の 70% の人家にエイズ患者か感染者がいる。

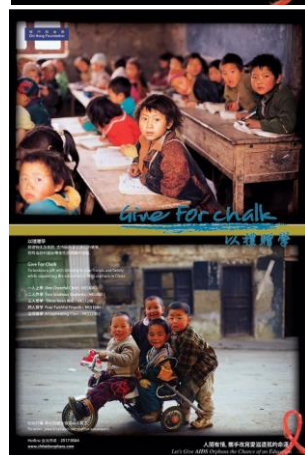
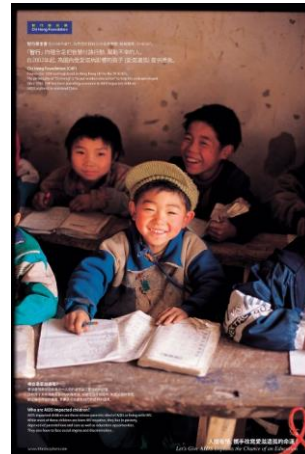
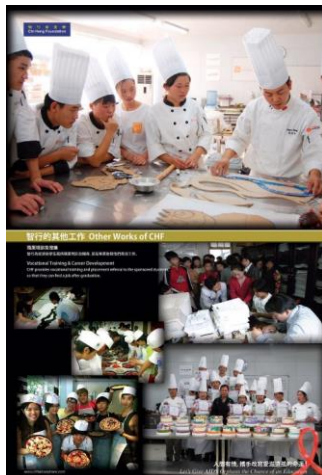
ここで、いろいろな活動をされている杜氏という方がいます。杜氏は香港出身でコロンビア大卒、ハーバード大学院卒のエリートで、投資銀行で仕事をしていて、企業のお金を増やす仕事をしていた。毎日立派な生地の高い服を着て、おいしい食事を食べて、世界中すべての人たちが、このように暮らしていると思っていた。

そんなある日、中国河南省のエイズに感染した夫婦と出会った。杜氏とさほど年齢の変わらない彼らは河南省の農村に住んでいた。河南省の農村では貧困による売血により、エイズに感染し、ろくに治療も受けられないまま死を待つ人々が沢山暮らしていた。その光景を直に見た杜氏はショックを受けそして考えた。「彼らは実は僕と同じように賢く、そして能力もある人たちだ、しかし環境が悪くこのようになってしまった」杜氏は彼らのために何かできないかと強く願った。

智行基金を設立した。集めたお金で河南省の農村に沢山の図書館そして学びのできる場を作った。エイズに感染した子供ひとり、ひとりと面談しエイズは恐い病気ではない、君たちには学び、未来に希望を持つべきだと伝えた。中には泣き出す者もいた「杜さん、我々はエイズにかかり教育はおろか、治療もできないまま家族全員死んでいくと思っていた。杜さんのおかげで子供は学ぶ機会をあたえられ国家重点大学に進学することができるようになった」杜さんは答える「僕は少しの手助けをただけです、ほとんどは彼ら、彼女ら自分自身の力です。」

中にはパン屋を目指す人もでてきた。フランスに留学しおいしいパンをつくれるようになった。彼の作ったパンを杜氏も、おいしいといいながら食べる。評判の良いおいしいパン屋となった。パン職人になった彼の目は輝き、エイズ孤児だった面影はない。

杜氏は語る「君たちが歌手になりたいといえ、それをサポートする学ぶ機会を与え続ける。しかし君たちが成功したときに必ず公益な心、慈善な気持ちを持ち、君たちの持つ技能を活かし、困った人を助けることを忘れてはならない。」



※ 中国 AIDS 孤児絵画展

日時：12/11(火)～12/14(金)

場所：日中友好会館（水道橋）で開催予定。



8月 31日 12件 52,000円 累計 281,000円

多額の寄付を有難うございました。(敬称略)

村上順子(東京広尾RC)/石井謙次/金山驍/
西澤民夫/土屋東一/熊本誠司/長谷川毅/
関陽一/河邊幸夫/石井達/藤井万博/佐藤仁/木下
京子

9月 ピアノ演奏曲

シューマン作曲：「子どもの情景」
標題の付いた 12 の小品から成り、シューマンの代表作。子どもたちの世界、それを見つめる大人の優しい眼差しが感じられます。
シューマン作曲：「アラベスク」
シューマンには珍しい、独立した抒情的な小曲。
ピアニスト 泉 晶子 氏